

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等										
総合的な管理運営方針、考え方	■安全、快適な利用空間の提供 「公の施設」として、誰もが平等に、安心快適に利用できる環境を提供する。	各取組を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・見通しのよい樹林地の創出、迅速な修繕を通し、安心快適な環境を提供するとともに、利用ルールの指導など平等な利用環境の提供もおこなった。		P4
	■より高い公益性の発揮 地域や関係団体と協力しながら、地域社会の発展に寄与する。	各取組を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・公園内の各有料施設においては、県公園条例、利用規則などに則り運営を行った。また、園内での商業用の撮影や制限事項に該当する行為等についても、相手方には個々に説明案内を行いご理解いただき、公平、公正な利用の確保に努めた。		P4
	■効率的・効果的かつ持続可能な管理運営 コスト意識と施設や人材を資源に、将来に渡る持続可能な運営を目指す。	各取組を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・効果的な人員の配置、直営作業による管理棟により持続可能な運営に努めた。		P4
	■三ツ池公園を再生し、県民の貴重な財産として将来に向けて継承 本公園の価値を高め、時代のニーズに沿って再生し、県民の財産として将来に向かって継承する。	各取組を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 桜や樹林地の再生、地域住民が主体となるイベント開催等により公園の価値を高める管理を行った。		P4
		6 各取組を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・桜樹等再生会議の議論結果に基づき、衰弱したサクラの樹勢回復施工を実施した。また園内樹木からの取り木、挿し木による苗木育成を行った。景観維持のための枯損木伐採、株物管理等も継続した。 ・「HANATOMOプロジェクト」として、花の広場ほか複数箇所の花壇で見どころづくりを行った。地域イベント、職業体験、ボランティア等として実施することにより市民を巻き込んだ活動として実施した。 ・外来種防除を目的として、例年実施しているザリガニ駆除体験に加え、上の池のかいぼりを実施した。		P6
	■活動の拠点づくり ・安心して利用できる施設を提供するため、質の高い維持管理を行う。 ・鶴見川流域レベルの広域的取組みとして、横浜市・川崎市の公園等と連携した広報等、回遊性向上を図る。 ・車椅子利用や子供連れ利用、外国人の利用環境整備のためのユニバーサルなサービスを充実する。	各取組を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常点検、定期保守作業に加え、降雨後のテニスコート水かき等を臨機応変に行い、より快適に利用できるように務めた。 ・昨年同様プール営業も滞りなく実施した。 ・車いすの貸出、おむつ自販機の設置継続、多言語化対応のホームページ継続 ・鶴見川流域ネットワークと連携しレインガーデンづくりのためカンゾウの植栽拡大を行った。		P6

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8				
	公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	■交流の場づくり ・「里山アウトドアと防災を融合したイベント」や「自然の中でのエクササイズプログラム」など、公園の自然を生かした体験プログラムの実施により、自然と人の交流の場づくりを行う。 ・「三ツ池フレンズ制度」の導入等の新たな地域人材発掘等により、人と人の交流の場づくりを行う。 ・「災害時外国人サポーター養成講座」等により、国際交流・異文化交流を促進する。 ・バリアフリー自然観察会やユニバーサル運動会等により、誰もが楽しめる公園として管理運営する。 ・利用者団体等相互のマッチメイクシステムの導入による団体間の交流促進のほか、利用種目の多様化などにより、運動施設の活性化を図る。 ・「協働コーディネーター」の配置により、臨海部工業地帯の活動の場として企業CSR活動を促進する。	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ノルディックウォーキング、野鳥観察等、自然豊かな公園の特性や里山ならではの行事を実施すした他、「ASOBO！Sai」を継続開催しアウトドア遊びと防災を学ぶ機会を創出した。 ・三ツ池フレンズ制度を継続実施し、市民の活動と交流の場とした。 ・「つるみワールドフェスティバル」を継続開催したほか、コリアマダンの開催協力、韓国語ハイキングなども継続し、異文化交流に努めた。 ・外国人向けの防災情報の掲示を行い、外国人に対する災害対応の充実を図った。 ・テニスの早朝利用枠の拡大を継続したほか、R4年度から軟式野球場でグランドゴルフが利用できるよう種目の追加をしたことも踏まえ、運動施設の活性化を図った。 ・各種団体との連携に際しては、園長が協働コーディネーターとして調整にあたり、行政、企業、ボランティア団体との関係構築に努めた。		P7	
		■安全・安心と防災機能の確保 ・施設等の状況を的確に把握し、優先順位をつけた計画的な維持管理により、施設の長寿命化を図る。 ・ボランティア団体等と連携した日々のパトロールの徹底等により、地域と連携した防犯を図る。 ・繁忙期の渋滞対策として誘導警備員の配置や注意喚起により、住民配慮を徹底する。 ・地域と連携した防災訓練の実施やパークセンターのWi-Fi機能の整備や備蓄品の充実等により、地域の防災力向上を図る。	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・年間作業に基づいて月間工程表、週間工程表を作成し、計画に基づいた維持管理を行った。 ・園路際や広場等、来園者の多いエリアの樹木について樹木医の診断を行い、危険木の発見とそれに対する対応を行った。また公園協会、石勝各JV本部による第三者視点からのモニタリングを実施し、指摘事項には優先度を付けた上で作業計画に反映した。 ・日々活動するボランティア団体からも施設の不具合や意見を徴収し、管理に反映した。 ・繁忙期には、駐車場誘導を専門業者に委託し、渋滞対策に努めた。 ・参集訓練の実施、防災備蓄品の補充により災害力の向上に努めた。		P7	
	利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	■平等な利用の確保 ・利用ルールの徹底、ユニバーサル対応、積極的な情報発信により、平等な利用を確保する。	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・犬のマナー啓発のイベントを継続実施したほか、釣りの禁止など、園内の掲示や放送により、利用マナー向上に努めた。 ・園内各トイレには「つるみ国際交流ラウンジ」監修の多言語と写真付きの掲示を行った。		P8
		■利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進 ・公園モニターや利用者アンケート等の実施、利用者や地域と連携した維持管理、地域の声を反映した魅力的な公園づくり等を進める。	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・公園協会として実施した公園モニターのモニタリング結果の共有、・年2回実施する利用者満足度調査や、常設アンケートをもとに、利用者の意見要望に対し、出来る限り業務に反映させた。 ・県主催のワークショップの円滑な開催に協力した。		P8
		■環境に配慮した管理運営 ・「環境マネジメントシステム」の運用、SDGsへの主体的な取組みや生物多様性の保全等に取り組む。	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・発生材をチップ化して敷設するほか園内で腐葉土を作成するなどの活動、希少植物の調査、外来植物の駆除等に取り組んだ。		P9
	2 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等										
	＜委託予定業務一覧表(様式第3号)による＞										
3 施設の維持管理											
3-①	施設の保守点検業務、小破修繕業務等	施設保守点検、点検と連動した速やかな対応と計画的な維持管理による安全確保と施設の長寿命化	・日常点検、専門点検等の実施 ・四半期ごとのセルフモニタリングを実施 ・点検結果や修繕の記録は独自の施設管理台帳への記録 ・優先順位をつけた計画的な維持管理の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常点検およびセルフモニタリングを計画通り実施した。指摘事項には優先順位をつけた上で必要に応じた補修及び県への報告を行った。		P13	

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
3-㉓	各施設の保守点検	運動施設のプレイングクオリティの向上、建築物等の保守点検	・運動施設は日常点検、定期点検に加え、四半期に一度の運動施設セルフモニタリングの実施 ・パークセンター、コリア庭園等、各種法令や基準に合わせた点検の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・点検およびモニタリングは計画通り実施し、指摘に応じて必要な対応を実施。多目的広場は水が溜まりやすいため適宜側溝清掃を行い雨天時のコンディション悪化の緩和に努めた。また遊具点検の結果に基づき修繕を実施した。		P14
	3-㉕ 清掃業務	きめ細かな清掃による快適で衛生的な利用環境の提供、新型コロナウイルス感染防止を踏まえた衛生対策	・維持管理基準に沿った適切な清掃 ・利用状況に応じた清掃 ・トイレや水の広場等の高圧洗浄機による清掃 ・グループ代表が作成したガイドラインに基づいた衛生対策の実施(運動施設では利用日毎の消毒作業を実施)	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・維持管理基準以上の清掃及びガイドラインに基づいた衛生対策の実施を行った。 ・繁忙日はトイレ巡回回数を増やし、ゴミ回収等を実施した。		P15
	3-㉖ 受付業務	おもてなしの心をもったお迎え、すべての人を楽しんでもらえる受付・案内	・適切な利用案内 ・障がい者や高齢者も利用しやすいユニバーサルなサービス、丁寧な受付・案内	同左	同左	同左	同左	計画どおり実施 ・運動施設の利用方法、花の見ごろ情報など、各種問い合わせに丁寧に対応したことに加え、窓口に設置した、筆談機、ルーペ、コミュニケーションボードを活用して受付対応をした。		P15
	3-㉗ 警備業務	犯罪が起りにくい環境の維持	・通年夜間、年末年始昼間の巡回警備を実施(繁忙期の補強) ・地域一体となった防犯の強化、見通しの確保など犯罪が起りにくい環境を維持 ・夜間等の勤務時間外の事件、事故への適切な対応 ・繁忙期やイベント開催時における駐車場渋滞対策	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・夜間警備では滞留者への声掛け等を積極的に行った他、警察と密に情報交換を行い、不審火や備品破損等の犯罪防止に務めた。 ・園内掲示物の一部を刷新し、より防犯効果が高い内容に差し替えた。		P16
	3-㉘ 未来につなげる桜樹再生計画の策定と計画的管理	・「三ツ池公園桜樹等再生会議（仮称）」の立ち上げ ・桜の魅力の維持・向上を目指した維持管理・日常管理 ・将来的なサクラの保全・再生に向けた中長期的な構想に沿った取組	・「再生会議(仮称)」の立ち上げ準備(構成員等の検討) ・樹勢調査の開始 ・桜の魅力の維持・向上を目指した維持管理・日常管理の実施	・「再生会議」の継続、「桜樹再生計画」の策定(利用者への周知等含む) ・再生計画の進捗状況に応じて樹勢調査を継続 ・桜の魅力の維持・向上を目指した維持管理・日常管理の実施	・「桜樹再生計画」に基づく管理の実施 ・再生計画の進捗状況に応じて樹勢調査を継続 ・桜の魅力の維持・向上を目指した維持管理・日常管理の実施	同左	同左	計画通り実施 ・桜樹等再生会議の議論結果に基づき、衰弱したサクラの樹勢回復施工を実施した。また園内樹木からの取り木、挿し木による苗木育成を行った。景観維持のための枯損木伐採、株物管理等も継続した。		P16
	3-㉙ 樹林地管理計画の策定による持続可能な樹林地管理	・持続可能な樹林を目指した樹林地管理計画の策定 ・樹林地管理計画に沿った維持管理(里山的活用エリア等エリアを設定し、各エリアの特性に応じた維持管理)	・「再生会議(仮称)」の立ち上げ準備(構成員等の検討) ・樹林地の密生状況や希少植物の生育状況等の植生調査の開始 ・ナラ枯れ対策として、カシノナガキイムシの早期発見と捕獲トラップの設置等	・「再生会議」の継続、「樹林地管理計画」の策定(利用者への周知等含む) ・管理計画の進捗状況に応じて植生調査を継続 ・ナラ枯れ対策の継続	・「樹林地管理計画」に基づく管理の実施 その他は同左	同左	同左	計画通り実施 ・樹林地管理計画に基づき維持管理エリアの特性に応じて、野鳥のために藪や池畔の水生植物の刈り残しを行うとともに、広場や園路付近は利用に供するための草刈りや除伐を行うなどの維持管理を実施した。		P18
	3-㉚ 花と出会い共に暮らす「HANATOMOプロジェクト」	・「花壇植付会」の開催 ・「地域や家庭にもっと花を」の取組	・花壇植付会等を含む「HANATOMOプロジェクト」全体の具体的計画策定	・「HANATOMOプロジェクト」の順次実施	同左	同左	同左	計画通り実施 ・花の広場を花植え体験の場に設定し、市民参加の植付会を実施した。 ・パークセンター2階にペットボトルを用いたハンギングバスケットを設置した。また出張講座として鶴見区内のリハビリテーション病院でも実施し、地域緑化に貢献した。 ・近隣中学校の職場体験学習として遊びの森花壇での花苗植付を行った。		P19
3-㉛	植物管理～各ゾーン共通の取組～	県のゾーニングの特性を理解した適切な管理	・芝生地、草地、花、桜等、管理エリアに応じた管理により、園内の美しい景観を創出 ・生物多様性に配慮した植物管理の実施 ・計画的な樹林管理の実施 ・希少種のモニタリングや外来生物の除去、花壇や樹林地管理について、ボランティア等の参加を呼びかけ、地域や公園利用者と連携した維持管理の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 エリアごとに管理方針を定め、生物多様性にも配慮した園内の植物管理を実施した。また、ボランティアと連携し、雑木林の樹木整理と林床の笹刈を行い希少植物が生育しやすい環境を作った。		P20

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8				
3-⑫	運動施設のゾーン	多目的広場、軟式野球場	【多目的広場】周辺住宅地等に配慮した管理 【軟式野球場】快適な利用環境を維持するため管理	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・乾燥が続きホコリが立ちやすい際は適宜散水を実施した。軟式野球場管理では外野部の芝の養生のために冬季のエアレーションと施肥を実施し、プレイングクオリティの向上に努めた。		P21
	広場利用のゾーン	草地、芝生地	【草地】花の広場等の草地は動植物の生育環境にも配慮した自然と共に遊べる空間を創出 【芝生地】利用と保全のバランスに配慮した管理	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・トンボ調査のイベントのため草刈り作業の時期をずらす配慮を行った。 ・作業地の状況と地形に応じて、肩掛刈払機、ラジコン草刈機、乗用草刈機を使い分けて作業を行い効率化を図った。		P21
		パークセンター・芝生広場　ウエルカムゲートとしての華やぎの演出	・芝の張替えを順次実施 ・翌年春に花が咲くようフラワーパーシードの実施(芝の張替えに合わせて順次) ・花壇管理は計画通り実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・芝生養生の為、夏季は散水を行った。 ・パークセンター前に部分的に芝の補植を行った。 ・ネモフィラとリナリアによるフラワーパーシードを実施した。		P22
		里の広場	・樹木：ツツジ等の樹形の整形 ・里の広場西側斜面のツツジ等の中低木植栽箇所等、順次エリアごとに草刈り、玉物手入れを実施。	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・昨年桜樹等再生会議の提言を受けて強剪定したツツジの維持管理を引継ぎ行った。また中心のサクラには樹勢回復の施工を実施した。		P22
		パークセンター	・多様なつる性植物によるグリーンカーテンの形成 ・屋上は「HANATOMOプロジェクト」の実践の場に位置付け、市民協働での植栽に向け、準備調整 ・藤棚はこまめな手入れにより、花の見所をつくるとともに、緑陰を形成	・「HANATOMOプロジェクト」については順次実施 ・その他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・「HANATOMOプロジェクト」の一環として市民参加のハンギングバスケット制作講座の完成品を設置した。 ・パークセンター前の藤棚の管理を適切に行い、緑被及び花の見どころをつくった ・夏季はアサガオによるグリーンカーテンを設置し、緑陰を提供した。		P22	
		コリア庭園	・庭園内の流れは浮遊物を小まめに清掃するなど美しい水景を保持 ・紅葉等の樹木を仕立て、きめ細やかな管理により美しい景観を創出 ・展示品の保護、石組みや門扉の屋根瓦等の点検、必要に応じて補修	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・流れはこまめに清掃して綺麗な水面を保つよう努めた。R8下期には循環ポンプを稼働した。 ・また、きめ細かい管理や点検を行い、コリア庭園の維持管理に努めた。 ・装飾物や備品の破損等は速やかに補修した。		P23
		分区園	・ボランティア団体との連絡会開催 ・ボランティア団体等とも協議しながら、分区園の具体的活用方策、実施スケジュール等を策定	・ボランティア団体との連絡会開催 ・桜の補植樹育成、ナチュラルガーデン創出、農業体験等を実施(ボランティア団体等との協議結果を踏まえて順次実施)	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ボランティア団体と協議しながら、分区園の具体的活用方策、実施スケジュール等の策定を行った。また分区園花壇に植える花苗を公園から提供した。		P23
	3-⑭	池及び周辺環境のゾーン	池の水質改善と水鳥や在来水生生物に配慮した管理	・対岸からの景観に配慮した中低木管理 ・ボランティアと連携した園芸スイレンの防除 ・水質改善策について、遮光シートや根と葉の切断分断、水抜き等による地下茎の根絶等、様々な手法を県と相互に方策を出し合い、試行しながら効果的な水質改善手法を探索 ・池周辺のガマ等の抽水植物の刈り残しなど、在来水生生物や水鳥等の生息に配慮した管理を実施 ・特定外来生物等の除去活動を継続 ・水面のごみ処理等の清掃を徹底	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・水鳥や在来水生生物に配慮し一部ガマの刈り残しを行った。 ・園芸スイレン防除のための遮光シート設置を継続した。 ・上の池のかいぼりによる外来種駆除活動を行った。 ・例年実施しているザリガニ捕獲をR7も実施した。	
4　利用促進のための取組											
		自然を楽しむ、理解する、守るイベントの開催	・ボランティア団体と連携、調整を図りながら、自然を楽しむ親しむ（かいぼり、プレイパーク等）の開催（主催又は共催） かいぼりは、生態系への悪影響のない時期や頻度について検討 ・園内活動団体や企業の協力・協賛による体験型イベント（里山アウトドア×防災イベント）開催準備、関係者調整 ・自然を理解する(PC展示充実、三ツ池観察等)の開催 ・自然を守る(住民参加による園芸スイレン、外来種駆除等)の開催	・園内活動団体や企業の協力・協賛による体験型イベント（里山アウトドア×防災イベント）を開催し、地域防災力の強化と里山再生活動への理解を深める ・かいぼりは、前年度の検討結果に応じて実施 その他は同左	同左		同左	同左	計画通り実施 ・野草や野鳥の観察、プレイパークやボランティア団体と連携して実施 ・パークセンター内では、三活会や県立博物館と連携して作成した植物や動物に関するハンズオン展示を設置し、園内の自然環境を学ぶ場を提供した。 ・CSR活動を行う企業とともに、カンゾウの植付を実施。 ・「上の池」では専門機関や市民団体と共に外来種駆除を行った。 ・防災とアウトドア遊びを兼ねた「ASOBO！Sai」を継続開催し、楽しみながら防災の普及を行う場を設けた。		P25

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
	自然と人との交流の促進	里山文化の体験・継承をするイベントの開催	・ 田んぼ餅つき体験、親子農体験、草木染、縄文ワーク ショップ等の開催（主催又は共催）	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 米作り、サツマイモ、ジャガイモ栽培等、里山や農体験 のイベントを開催 ・ 草木染やキノコの絹地では園内発生材を活用		P25
		自然に恵まれた環境を生かした健康づくりに関するイベ ントの開催	・ 利用低調エリアや時間帯を活性化するため、地形や 緑、池を生かしたプログラム（エクササイズ、里山体 験、パークヨガ等（主催又は共催））の提供 ・ 朝ジョグプロジェクト（主催又は共催） ・ 鶴見川流域レベルの回遊性確保のため、連携施設や広 域集客のための方策検討	・ 流域ネットワークの強化 ・ その他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 高齢者向けの体操教室、ノルディックウォーキング、ス ポーツクラブと連携した走り方教室等を継続開催し、健康 づくりの場を提供 ・ 利用が低調な滝の広場での近隣住民による朝のラジオ体 操の実施継続実施 ・ ジョギングコースの紹介とラジオ体操の参加呼びかけを 行い「朝ジョグプロジェクト」を促進させた。		P25
	人と人との交流の促進	花の一大イベントの開催	さくら祭り（主催予定）、アジサイフェス（主催予定） 等の開催	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ さくら開花に合わせたキッチンカーの出店数増加により 花を活かした利用促進を行った。		P26
		地域と一体となったイベントの協力	・ 「三ツ池公園文化環境フェスティバル」、「ふれあい まつり」の開催協力 ・ 地域回遊促進の取組については、ニーズ把握や周辺施 設との連携調整等、具体策の検討を実施	・ 地域回遊促進の試行 ・ その他は同左	・ 地域回遊促進の 実施 ・ その他は同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 「フェスティバル」「ふれあいまつり」の開催協力に加 え、R5年度に立ち上げた「まつりdeフェス」「ワールド フェス」の2つのお祭りを継続開催し、住民の交流を促進 した。 ・ 鶴見川流域ネットワークと連携し、流域スタンプラリー に協力。		P26
		地域人材の発掘と市民が主体となって開催するイベント 支援	・ 「鶴見人ネット」に登録するボランティアへの積極的 な協力呼びかけ ・ 市民等が企画するイベントを体系的に実施できるよう にする「三ツ池フレンズ制度」のニーズ把握	・ 「鶴見人ネット」の活用 ・ 「三ツ池フレンズ制度」運用の仕組みづくり	・ 「鶴見人ネッ ト」の活用 ・ 「三ツ池フレン ズ制度」の運用	同左	同左	計画通り実施 ・ 「三ツ池フレンズ制度」を継続し、近隣の個人団体によ り、工作や運動、マルシェ等の行事を開催した。		P26
		パークセンターの魅力向上	展示コーナーの充実、パークセンター周辺での三ツ池マ ルシェ（主催又は共催）開催に向けた検討等	展示コーナーの充実、三ツ池マルシェ等の実施検 討	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 花の見ごろ情報や地元小学校の作品展示を開催。動物の 展示では、三活会や県立博物館と協働で作成した標本を展 示しパークセンターの魅力向上に努めた。		P26
	国際交流と異文化交流の促進	異文化交流の場を積極的に提供	・ 異文化交流×国際交流（書初め、太極拳等）の機会を 積極的に提供 ・ 外国語体験プログラム（区民活動センターとの連携し たグローバルガイドによるバードウォッチング等）の開 催 ・ コリアマダンへの協力 ・ 災害時外国人サポーター養成講座の実施に向けた調整	・ 災害時外国人サポーター養成講座開催 ・ その他は同左	・ これまでの異文 化交流イベントを 確に「アジア異文 化交流フェスタ」 の実施 ・ その他は同左 の検討 ・ その他は同左	・ 「アジア異 文化交流フェ スタ」の実施 ・ その他は同 左	同左	計画通り実施 ・ 伝統的な正月遊びコーナーを設け、日本の文化体験を促 進した。 ・ 韓国人講師を招いた「韓国語ネイチャーハイク」の開 催、外国生まれの尺八奏者によるコンサートを開催継続な ど、グローバルな文化交流を促進した。 ・ 「つるみワールドフェス」を継続開催し、アジアだけ でなく、南米など鶴見の特性を生かした大規模国際交流イ ベントを開催した。 ・ 引き続きコリアマダンの再開協力を行った。		P27
	ユニバーサルなサービスの充実	日常的なユニバーサルなサービスを充実	・ 授乳室の提供、車椅子貸出、車椅子に配慮した看板設 置等 ・ 園内トイレへのおむつ替え台増設に向けた協議、実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 授乳室の提供、車いす、ベビーカーの貸出。パークセン ターに設置した筆談具や子供用便座等を活用し、ユニバ ーサルサービスを継続。 ・ 園内各トイレには、多言語と写真付で利用方法（流し 方）を掲示継続		P28
		多様な人々が楽しめるようなイベントの開催	・ バリアフリー観察会（主催又は共催）、手話読み聞か せ（主催又は共催）、ユニバーサル運動会（主催又は共 催）等の開催準備	・ バリアフリー観察会、手話読み聞かせ、ユニ バーサル運動会等の順次開催	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 手話観察会を企画し、県内のろう者支援施設へ参加呼び かけを行った。		P28
	繁忙期・閑散期に応じた利用促進	繁忙期の臨時駐車場開設や閑散期の観察会等の実施	・ 臨時駐車場開設（多目的広場） ・ 閑散期のイベント（観察会、スタンプラリー等）の検 討	・ 臨時駐車場開設（多目的広場） ・ 閑散期のイベント（観察会、スタンプラリー 等）の開催	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ 桜や大規模イベント時に臨時駐車場を開設し、繁忙期対 策を実施 ・ 閑散期となる冬場も犬のマナー啓発イベント、、防災イ ベント、冬鳥観察等のイベントを開催した。		P28

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
	新しい生活様式に対応したイベント の開催とサービスの充実	感染状況のステージに応じた公園利用への対応	・イベント開催における感染拡大防止対策 ・感染ステージに応じたイベント開催の工夫（リモート 配信、セルフプログラムの充実等） ・キッチンカーの導入	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・貸出用品の都度消毒など、感染症拡大防止に努めた。		P29
	有料運動施設のサービス向上	・更なるユーザー獲得とJVの強みを活かした連携 ・地元利用を促進させる広報 ・各種イベントの開催 ・利用種目の多様化	・マッチメイクの働きかけのためのニーズ把握 ・周辺公園との連携(相互の情報発信) ・利用団体、近隣幼稚園、自治会等の利用状況の把握 ・各種イベント(キャッチボール教室等)のニーズ把握 ・防災訓練の場としての活用を自治会に働きかけ ・利用種目の拡大(グランドゴルフ、ターゲットバード ゴルフ、3×3バスケット等)に向けたニーズ把握	・マッチメイクの働きかけ ・周辺公園と連携(相互の情報発信) ・かけっこ教室等の開催 ・利用種目の拡大(グランドゴルフ、ターゲット バードゴルフ、3×3バスケット等)に向けた各種調 整 ・多目的広場、軟式野球場でのグランドゴルフ受 け入れ ・テニスコートの利用枠拡大の調整	・利用種目の拡大 (グランドゴル フ、ターゲット バードゴルフ、3 ×3バスケット等) の運用 ・その他は同左	同左	同左	計画通り実施 ・野球場で種目拡大したグランドゴルフの受け入れ継続の ほか、テニスの早朝利用枠を試行的に拡大し運動施設の サービス向上を図った。 ・グラウンドゴルフについては大会を誘致し、平日の利用 拡大を図った。 ・夏場にテニスコートに目除けを設置するなど、利用向上 に努めた。 ・子供向けのかけっこ教室を多目的広場で開催し、施設の PRに繋げた。		P30
	駐車場・自動販売機のサービス向上	・駐車場 ・自動販売機	【駐車場】：職員不在時も減免等の対応、電子マネー (ICカード)対応、SNSを活用した混雑緩和対策 【自動販売機】：事故防止対策の実施、災害支援ベン ダーの導入等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・キャッシュレス決済に対応した駐車場精算機を導入した ほか、X(旧Twitter)での混雑状況の発信、災害用ベン ダー対応の自動販売機の管理を継続した		P31
	広報・PR活動	・各グループ構成員の強みを活かした広報PR	・フォトコンテスト開催、かながわパークナビ、かなが わNOW等による発信 ・鉄道駅での広報、鉄道関連紙面への掲載、ケーブルテ レビ、東急グループ内報誌への掲載については、実現に 向けた関係機関調整 ・サカタのタネ会員向けのメールマガジン等による発信	・JR観光サイトへの情報発信、ケーブルテレビ、 東急グループ内報誌等への掲載 ・その他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・JRの情報サイトへの桜情報の提供、地元ケーブルテレビ 「ユーテレビ」への取材協力。 ・フォトコンテストの開催と作品展示。 ・グループ企業情報媒体への掲載調整を進めた		P32
		各種媒体の特徴を活かしたメディアミックスによる広報 PR	・WEB、紙媒体の活用 ・地元連携による広報(協働コーディネーターの配置、 横浜フィルムコミッションとの連携) ・マスメディアの活用、外国籍住民に向けた広報	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ホームページ、X(旧Twitter)、チラシ、タウン誌な ど、各種媒体を活用し、広報PRを行った。 ・広報チラシ「いけいけ三ツ池」を発行し、近隣施設や自 治会へ配布。		P33
	公園利用者数の目標	1,455千人に対し、令和8年度に1,457千人を目標とす る。運動施設は、軟式野球場・多目的広場はH29～R1平均 比で毎年1%増、テニスコートは同平均の継続、プール はH29、30平均の継続を目標とする	・利用者増に取組む(各取組を実施)	同左	同左	同左	同左	一部実施 ・R6年度目標1,456千人に対し、実績1,296千人であった。 大型イベントの雨天中止等が影響した。		P34
5 自主事業の内容等										
5-①	パークセンターでの物販	・気軽に購入できるお菓子や敷物、遊び道具、オリジ ナルカレンダー、ポストカード等の物品を備え利用者の利 便性向上を図る。	・各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・菓子類等の販売を通年で実施		P36
	売店及びキッチンカー	・売店やレストランメニューの提供を行うキッチンカー の効果的な営業により、利用者満足度の向上を図る。 ・下ノ池売店の営業日拡大の検討。	・各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・軽食や菓子類の販売を通年(土日)に実施 ・桜の時期に台数を増やすなど利用者サービスに合わせた 運営を行った。		P36
	コインシャワー	・更衣室内のコインシャワーの営業により、利用者サー ビスの向上を図る。	・各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・R7から利用促進事業としてコインシャワーを通年実施 ・有料施設利用者や園内掲示で利用促進を図った。		P37
	カヌー体験教室	・「池」や閉鎖期間のプールを活用したカヌー体験会を 開催。	・連携企業と調整のうえ県と協議	・カヌー体験会の実施	同左	同左	同左	計画通り実施 ・R4及び5年度に中の池及びプールにて親子カヌー体験を 実施。		P37
	プールふわふわ遊具	・閉鎖期間のプールでバレーン遊具体験会を開催。	・実施に向けた調整	・ふわふわ遊具に代わりカヌー体験を実施	同左	同左	同左	計画通り実施 ・R4及び5年度にプールを活用したイベント(カヌー)を 実施し、閑散期のプール活用とした。		P38
	地元スポーツチーム等による教室	・運動施設を活用した教室の開催。	・実施に向けた調整	・教室の開催	同左	同左	同左	計画通り実施 ・市内スポーツクラブと連携し多目的広場でかけっこ教室 を開催し、運動施設の認知度向上を図った。		P31

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
	公園協会の独自資産（SDGs 積立資産）を活用した取組	・樹林地の環境改善のために実施する間伐等の一部、草地管理の一部 ・桜更新のための苗木購入及び桜樹等再生会議（仮称）の運営の一部 ・花壇管理のための花苗購入の一部 ・配架用点字パンフレットの作成、サイン（簡易掲示）用のビクトグラム作成 ・おむつ交換台の設置 ・防災用食料及び衛星電話等、防災備蓄品の購入 ・EV作業車両の導入	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・第4期の指定期間が2年延伸されることから、執行計画を2年延伸して組み直すこととした。		P38
6 利用料金の設定・減免の考え方										
	有料施設	プールの中学生料金の設定	・プールの中学生料金の設定検討	・テニスコート利用拡大の試行	・試行を踏まえたテニスコートの運営	同左	同左	計画通り実施 ・プール利用実態から、中学生料金は取りやめ、テニスコートの早朝利用拡大により、運動施設の利用向上を図った。		P39
	駐車場	機械式による北門駐車場、正門駐車場の運営	・計画通り実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・料金設定は、管理基準を定め、県の許可をうけたうえで実施		P39
	自動販売機	自動販売機による飲料、アイスの販売	・計画通り実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・自動販売機の台数、料金設定等は、県の許可を受けたうえで実施		P40
	減免の考え方	有料施設：減免基準の設定（県の承認）と運用 駐車場：三ツ池公園駐車場管理基準に基づく減免（県の承認）の運用	・計画通り実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・条例で定められた上限額内での設定と減免基準を作成し県の承認を得て実施		P40
7 利用者対応・サービス向上の取組										
7-①	基本的な接客や利用者との対話の考え方	誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけるよう、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客を目指す。	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・窓口やアンケートで寄せられた意見には丁寧に対応し、声掛けのしやすい環境づくりに努めた		P41
7-②	接客や利用者との対話の具体的な取組	利用案内の手引きの作成、おもてなしバッグの携帯、最新の情報共有による窓口や電話等の対応、ユニバーサルなサービスの提供に取り組む。	・利用案内の手引き作成 ・おもてなしバッグの携帯 ・窓口、電話、メールへの適切な対応 ・所内会議等の情報共有 ・「誰もが円滑に利用するための工夫」によるユニバーサルな対応	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・朝礼や所内会議での職員間での情報共有 ・窓口、電話対応等には、共有した情報をもと適切に対応した。 ・利用案内の手引き、おもてなしバッグを作成し、巡視時に携帯		P41
	公園利用ルールの利用者への助言、指導等	利用ルールの策定、利用ルールの周知等	・利用ルールの策定 ・マナー向上、花見客への対応、施設の利用方法や受動喫煙自然環境保全、コロナ対策等の指導	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・利用者満足度調査やおつきあい会議を開催し、利用者の意見を聞き取り、運営に反映した		P41
	マニュアルの整備や研修によるスキル向上	接遇マニュアルの整備、研修の実施	・接遇マニュアルに基づく接客対応 ・接遇研修、日常の接遇チェック、花の知識に関する研修等、各種研修の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・朝礼時のあいさつ唱和、手話講習会の受講、桜樹再生会議の有識者による桜品種の管理方法の伝授等、接遇と専門地知識の広報に努めた		P42
	利用者ニーズ・苦情の把握と事業等への反映	ニーズ・苦情の把握、分析、改善、利用者満足度向上・新規利用者獲得	・利用者満足度調査、イベント参加者アンケート等の実施 ・公園モニターの公募 ・データベースソフトを用いた事例蓄積	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・年2回の利用者満足度調査、常設アンケートの実施 ・公園モニターは実施したが、三ツ池公園への応募は無し		P42
	外国人利用者への対応		・外国人モニター実施に向けた頻度やモニター内容の調整 ・ビクトグラムによる案内（自主）、HPの4か国語対応（自主）、翻訳機器の導入等による利用案内 ・やさしい日本語の活用等による安全確保	・外国人モニターの調整・運用 ・その他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ビクトグラムを用いた園内サインの掲示、HPの多言語話、翻訳アプリの導入を実施		P43
	誰もが円滑に利用するための工夫、支援	障がい者への対応	・車椅子の貸し出し、バリアフリーマップの提供等による物理的環境への配慮 ・視覚、聴覚、その他障がい者への意思疎通の配慮	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・バリアフリーマップの掲示、筆談機等を設置継続		P44
		高齢者への対応	・車いすの貸出、認知症サポーター養成講座受講、老眼鏡、ルーペの貸出	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・車いすの貸出、ルーペの設置等を継続		P44

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
		子育て世代への対応	・園内トイレへのおむつ替え台増設に向けた協議、実施、子ども用便座貸出、踏み台の設置等 ・おむつ自販機の設置	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・R4年度に設置したおむつ交換台、子ども用便座、おむつ自販機の活用、管理継続		P44
	手話言語条例への対応	職員への教育、手話の普及啓発	・手話講習会受講の職員による対応等 ・手話自然観察会等の実施準備	・手話講習会受講の職員による対応等 ・手話自然観察会等の開催	同左	同左	同左	計画通り実施 ・手話講習会を受講した職員の配置 ・手話観察会実施を企画し、県内のろう者支援団体への参加呼びかけ		P45
8 日常の事故防止、緊急時の対応										
	事故防止の体制	スケールメリットを活かした組織的な体制強化、地域の関係機関と連携した体制強化	・体制づくりと運用 ・事故不祥事防止会議、定例主任会議等の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・常に常勤職員を配置し、緊急時等においても的確な対応が取れる体制とした。		P46
	具体的な事故防止	施設別の安全対策	・JV企業合同施設点検 【遊具】日常点検及び定期点検等 【プール】監視員配置等 【池】浮き輪設置等 【園路広場】腐朽やボルト緩み等を重点においた点検 ・点検による指摘事項については、改善を検討し必要に応じて県に協議	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常の園内パトロールに加え、石勝エクステリアのモニタリング、公園協会の施設点検パトロールを実施。施設点検パトロール時は石勝エクステリア職員も参加し、JV企業で危険箇所の共有を図った。		P47
	日常作業の安全確保	来園者に対する安全確保 作業員の安全確保 ルールの徹底のための抜き打ち検査	【来園者】作業時間の配慮、作業エリアの確保、周知、農薬使用の軽減等 【作業員】作業前、作業中、作業後の事故防止の取組 【検査】抜き打ち検査の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・遠足等の利用に配慮した作業計画、重機を用いた作業等の事前告知、作業前後の安全確認を常時実施 ・毎朝のKYミーティングおよび終礼でのヒヤリハット確認を実施 ・代表企業本部による抜き打ち検査を実施		P48
	防犯対策	具体的な防犯対策	・パトロールの実施、犯罪の起こりにくい維持管理、緊急時の迅速対応	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常（定期）パトロールにおいて、遊具、樹木の枯れ枝の確認、近隣住宅への支障木等の確認、柵の点検等を実施し安全管理に努めた。		P48
		地域と一体となった防犯対策	・公園の活性化による防犯、ボランティアとの連携、地域の関係機関との連携 ・地域情報の収集 ・こども110番の家登録と運用	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・パークセンターのこども110番に登録の継続 ・ボランティア団体からの情報収集 ・近隣交番への夜間巡視の強化呼びかけなど、地域と連携した防犯の取組継続		P49
	防火対策	消防法に基づく対応、マナーやルールの周知徹底	・消防計画の作成と運用 ・園内掲示等によるたばこマナー、火気禁止等のルール徹底 ・消防設備点検等の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・防火管理者を配置し、消防法に関わる消防計画を作成した。		P49
	安全管理マニュアル等の整備	マニュアル整備による職員の認識共有とチェック体制の構築	・各マニュアルの策定と運用 三ツ池公園安全管理マニュアル 施設点検パトロール実施要領 園内巡視マップ、危険箇所マップ 遊具点検チェックリスト 各施設点検マニュアル 園内作業マニュアル	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・安全管理マニュアルの作成、チェックリストに基づいた遊具点検等を実施		P49
	安全管理を確実に実行するための研修等	安全衛生推進者の配置、研修の実施	・新規採用者研修 ・定期的な研修 ・安全講習等、必要に応じた研修	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・新規採用者研修や定例会議を活用した事故防止会議を開催し、職員の意識と技術の向上に努めた		P49
	樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害の未然防止	日常点検や台風シーズン前の集中的な点検	・広場や園路沿いの樹木等の日常の点検 ・樹林地内の園路や遊具周辺に重点をおいた集中的な点検	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常パトロールに加え、樹林地や遊具周辺は、台風接近時等は、重点的にパトロール ・園内各所の危険木を積極的に剪定、除伐した ・将来的な樹林地過密を防止するため、実生木除去を積極的に行った		P50
	事故発生時の対応	利用者の安全確保	・迅速な初期対応 ・二次災害の防止等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・利用者の安全確保を第一に現場対応、救急隊の誘導等に努めた		P50
	事故後の対応	情報連絡・事故対応	・県への報告、報告書の提出 ・原因の究明、再発防止の検討等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・迅速な県への事故報告と職員の事故の際は、再発防止会議を実施		P51
	安全管理の妨げとなりうる事案への対応	関係機関と連携した迅速な対応	・犯罪予告、脅迫や不当な要求、不審者や不審情報への対応	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・近隣交番とも顔の見える関係性を構築し、夜間は、警備員を配置し、緊急時は速やかに園長・副園長等に連絡が入る体制を敷いた。		P51

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
	外国人、障がい者、高齢者が含まれていた場合の対応	対象者に合わせた対応、多言語ややさしい日本語の活用	・歩行や譲歩伝達等への対応 ・多言語ややさしい日本語の活用 ・車椅子牽引装置の導入、救護スペースの確保	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・災害時等に役立つ、外国人向けコーナーを設置し対応力向上を図った。 ・R4年度に導入した車いす牽引装置の管理継続	P51
	不祥事を認知した際の対応	不祥事防止策の徹底、発生時の迅速かつ誠実な対応、再発防止策	・各種規定やガイドランの遵守 ・拡大防止と状況把握、早期な対応策の実施 ・原因究明や対策の検討等	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・不祥事案が発した際には、迅速な被害拡大防止等を行う	P52
9 急病人及び新型コロナウイルス等への対応										
	急病人が生じた場合の具体的対応	傷病の事象に合わせた対応、近隣医療機関の情報把握と提供	・転倒、蜂刺され等に応じた迅速な対応 ・近隣医療機関の情報把握と提供	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・傷病者が発生した場合には、職員による迅速な現場確認と必要に応じた救急要請等を行った。	P53
	救命に関する職員研修と備え	救命講習の受講 防災訓練等におけるAED取扱い訓練の実施 AEDの確実な配備	・普通救命講習、上級救命講習の受講 ・幼児安全法支援員の受講 ・防災訓練等、AED取扱いの訓練 ・パークセンター、更衣室へのAEDの配備	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・上級救命講習、幼児安全法支援員の受講をした職員の配置	P53
	コロナウイルスまん延防止のための 取組	日常利用における感染防止対策 感染防止を徹底するための各施設の管理	・国や県の取組方針の遵守、ガイドラインの運用 ・利用者への協力（ヘルスチェックリスト記入等）、維持管理の対策等 ※県の実施方針等に合わせ、取組を見直しながら実施（以下のコロナ対策も同様）	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・県の取組保身に基づき、公園のガイドラインを作成し管理運営に当たった。	P54
		イベント時の対応	・検温、連絡先の把握等	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・参加者の自主性に合わせたマスクの着用を行った。	P55
		職員の感染防止対策	・感染症予防の体制構築 ・各種対策、健康状態の確認等	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・職員の体調管理、自主的なマスク着用などを実施し、感染があった場合には速やか報告とJV各社の応援により業務継続を図った	P55
		利用者の感染が判明した場合の対応	・速やかな報告、消毒、保健所等への調査協力	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・利用者の感染が確認された際は、速やかな報告等を行う	P55
		コロナ禍における災害時対応	・県市の要請に応じて避難者受け入れ ・受付時の対策 ・パークセンター内和室を体調不良者の専用スペースに設定	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・パークセンター内和室を専用スペースとして活用できるよう、清潔と整頓を保った	P56
10 災害への対応（事前、発生時）										
	台風の接近、大雨洪水に関する対応	的確な情報収集 タイムラインに沿った対応 緊急車両の駐車スペース確保への協力 体制の整備 停電時の電力確保	・気象庁や横浜市等からの情報収集 ・台風や大雨の状況に応じたパトロール、注意喚起、避難所等との情報共有 ・時点毎の県への報告 ・駐車場への消防車両受入れへの協力 ・県の指示に応じた時間外体制の構築 ・電気自動車の配備、発動機等の活用	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・日ごろから気象庁の情報サイトを活用するほか、危険個所の把握、R4年度に導入した電気自動車の活用、管理の継続	P57
	ゲリラ豪雨や雷等への対応	情報収集と利用者への注意喚起	・園内放送による注意喚起、プールや運動場への注意呼びかけ等	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・利用の危険がある場合には施設利用の停止、園内放送等の対応を実施	P58
	熱中症警戒アラートへの対応	情報収集 事前準備 利用者への注意喚起等	・官庁HPや自治体メールマガジン等で情報収集 ・熱中症応急セットの配備 ・熱中症予防のための有料施設ペナルティ対象外の対応	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・気象庁HPの確認、運動施設の熱中症キャンセルの受付を実施	P58
	震度4以上の地震発生時	配備体制、初動体制	・パトロール体制の確立と運用 ・園内パトロール、負傷者の応急措置等 ・県への報告	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・災害対策活動指針を作成し、それに基づき総括責任者の設置及び体制の継続	P58
	震度5以上の地震発生時	配備体制、時間外の参集体制	・配備体制の確立と運用 ・緊急参集訓練の実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・緊急参集体制をつくり、その訓練を実施し、非常時にも可能な限りの公園管理運営ができるような仕組みの継続	P59
	初動時～緊急時～復旧・復興時の対応	・タイムラインに沿った対応	・「三ツ池公園の震災時対応の考え方」「災害対策活動指針」に基づく対応 ・衛星電話、IP電話の導入と運用 ・迅速な園内の状況把握 ・滞留者、車中避難者の支援 ・避難スペース等の清掃管理	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・発災時に迅速に行動できるよう災害対策活動指針を公園に配備	P59

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
	本公園の特性、立地条件等に応じた 対応	人命を最優先し施設被害を最低限にとどめる対応	・池周辺、樹林地の立入禁止等 ・緊急車両の進入路の確保等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・園内のハザードマップを事務所に掲出し、迅速な初期対 応に備えた		P61
	災害に備えた事前対策	災害情報の受発信、パークセンターのWifi環境整備、災 害対策マップの活用と更新	・スマホ向けアプリケーションや市防災メール等の活用 した災害情報の受発信 ・パークセンターのWifi環境の整備 ・災害対策マップの作成、掲示、更新	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ハザードマップの掲出、市の防災メールの登録等		P62
		震災時利用施設の維持管理	・リストによる各施設の日常点検、備品類の日常点検	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・災害用備品はリスト化し、防災倉庫に掲出		P62
		防災訓練・職員教育	・シェイクアウトプラスワン、緊急参集訓練の実施 ・安全管理研修、消防訓練の実施等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・緊急参集訓練の実施、防災訓練等を消防と連携して実施		P62
		地域との連携	・市や近隣施設等との連携 ・救命訓練、防災イベントの実施、県が主催する情報伝 達訓練への参加 ・住民参加による防災倉庫の確認や炊き出し訓練等を想 定した地域合同防災訓練に向けた調整	・地域合同防災訓練の調整・実施 その他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・消防と連携したAEDの訓練、消火器訓練 ・災害時の外国人対応研修受講の職員の配置 ・「ASOBO! Sai」開催により来園者参加型の防災イベン トを開催		P63
		災害対応物品の備蓄	・水、災害用トイレ、電気自動車・電源取り出し装置、 衛星電話、IP無線機、トランシーバー、燃料、上履きヘル メットの順次導入	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・SDGs資産を活用して購入した、水等の防災備蓄の適正管 理		P63
		災害発生時の協力等	・災害復旧への協力（機器（チェーンソー、テント 等）、物品、救援活動支援） ・避難所（帰宅困難者滞留）となった場合のコロナウイ ルス感染症対策	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・災害用備品はリスト化し、防災倉庫に掲出、災害復旧活 動への協力に備えた		P63
		災害発生時の対応及び業務継続計画（BCP）	・BCP（事業継続計画）の運用、必要に応じた見直し ・災害時の事業継続に特に必要となる人的バックアップ	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・BCPを策定し、発災時に備えた		P64
11 地域と連携した魅力ある施設づくり										
11-①	多様な主体との連携、協力体制の構 築等	公園への愛着や親近感を高め、生きがいづくりやコミュ ニティのつながりを高める	・現管理者が築き上げた地域団体とのつながりを引き継 ぐ ・新たな協働先（鶴見人ネット、地域の国際交流団体、 近隣企業、教育機関等）を開拓し、地域団体や人材を積 極的に活用 ・行政機関や近隣自治会と連携調整を図りながら、防 犯・防災への取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・鶴見区国際交流ラウンジと連携した利用掲示 ・地元中学校の職場体験の受け入れ、地元企業のCSR受け入 れなど、多様な団体との関係を構築 ・イベントや事故対応での消防、警察との連携		P65
11-②	ボランティア団体等の育成・連携、 協働	ボランティアの育成、各ボランティア団体との協働連携 を図る	・各ボランティア団体との連携、協力の実施 ・「楽しいおつきあい企画会議」の運営、「三ツ池公園 を活用する会」との連携 ・「さくら図鑑」の継続	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・花壇ボランティアの活動継続 ・おつきあい会議の実施、年間を通じた三活会との活動で 連携を図った。 ・近隣住民（ラジオ体操会）による花壇の手入れ、プレイ パークの活動支援など		P66
11-③	周辺施設との交流・連携	・周辺施設との連携 ・他公園との連携 ・スケールメリッ トを活かした利用促進と広報	・花とみどりのフォトコンテスト等の他公園との連携 ・スケールメリッ トを活かした費用節減や広報 ・鶴見川流域レベルの回遊性確保のため、連携施設や広 域集客のための方策検討 ・地域回遊促進の取組については、ニーズ把握や周辺施 設との連携調整等、具体策の検討を実施 ・Hanaotmoプロジェクトでの近隣病院等との連携を模索	・計画通り実施 ・鶴見川水域マスタープランやトンボはどこまで 飛ぶかフォーラムとの協力・連携	・計画通り実施	同左	同左	計画通り実施 ・フォトコンテスを開催し、協会管理公園で巡回展示を 行った。 ・鶴見川流域ネットワークと連携したスタンブラリー、カン ゾウの植栽の実施 ・トンボはどこまで飛ぶかフォーラムの一員として、鶴見 川河口域のトンボ調査の協力実施		P67
11-④	地域企業への業務委託	地元企業、非営利団体への発注	・地域企業への発注 ・地元非営利団体への業務委託	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県内企業や公園近傍への発注に努めた		P68

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：三ツ池公園

事業計画書の内容			実施計画					令和7年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
12 管理経費の節減等										
	収支計画書	—	別紙参照	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 (収入合計／支出合計の比率は97%) 年々増加傾向にある危険木の伐採や施設維持管理等の支出 が増大し、収支率-3%となった。		
13 人的な能力、執行体制										
	適切な人員配置	現地責任者・主要職員の適切な配置	・計画に示す経歴等での人員配置	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P69
		専門知識や有資格者の適切な配置	・計画に示す有資格者（資格、人数）の配置	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P70
	人材の育成	研修の受講、資格取得の推進	・人材育成の考え方に基づく実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P72
	職員の採用	公募による人材確保 公園管理運営方針を理解した確な対応ができる人材（常勤職員） 即戦力となる人災（公園管理主任等） 地元人材の活用（パートタイム職員）	・適正な採用の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P73
	働きやすい労働環境の確保	ワークライフバランスの確保 ハラスメント対策等の実施	・各取組の実施による労働環境の確保	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P73
14 コンプライアンス、社会貢献										
	法規や労働関係法規の遵守	施設設備、労働関係、文書管理等の諸規程に基づく法令 遵守の徹底	・諸規定の整備と運用	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P75
	4つの環境目標達成への取組	低炭素社会への貢献	・再エネ電力の積極的活用 ・樹林地の管理、事務所の省エネ等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P76
		生物多様性保全	・草地、樹林地、水辺等環境に応じた管理 ・希少種保護、外来種駆除等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・生物の生育に配慮した管理計画を立案 ・主に上の池における外来種駆除の実施 ・在来種であるカンゾウの植栽を推進		P76
		循環型社会への貢献	・発生材の園内活用、ゴミの削減 ・グリーン購入促進等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・剪定枝のチップ化および落葉の堆肥化と園内管理での再利用、裏紙の使用など、循環型社会に貢献した		P76
		普及啓発の促進	・観察会、市民団体の活動連携、職員研修等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・市民が講師となる野鳥観察会の実施、希少種モニタリングの職員間での共有等		P76
	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムによる継続性の確保	・システムの運用	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・環境マネジメントシステムによる取り組みの評価を実施		P76
	本公園での具体的な取組	環境負荷軽減	・発生材の堆肥リサイクル、雨水利用等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・剪定枝のチップ化や落葉の堆肥化と活用、電気自動車の導入により環境負荷軽減に取り組んだ		P76
		自然環境保全への配慮、環境教育	・樹木の保全、外来種駆除、モニタリング等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・イベントとしての外来種駆除や、企業CSRによる在来種植栽等を実施		P76
	障害者雇用の促進	障害者の直接雇用と障害者就労施設等への積極的な業務発注	・法定雇用率を上回る雇用努力の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P77
	ともに生きる社会かながわ憲章の趣旨を踏まえ取組	職員研修、合理的配慮、イベントや利用者への普及啓発	・職場内研修や障害者理解促進研修の実施 ・合理的配慮の実施 ・バリアフリー観察会、手話読み聞かせ、ユニバーサル運動会等の開催準備	・バリアフリー観察会、手話読み聞かせ、ユニバーサル運動会等の順次開催 ・その他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P77
	手話言語条例への対応	普及体制、職員への教育、利用環境の向上	・体制づくりと運用 ・研修の実施 ・コミュニケーションツールの設置等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		P78
	SDGsへの取組	JV各社によるSDGs達成に向けた取組の実施、本公園での具体的な取組の実施	・SDGs積立資産を活用した桜の更新やユニバーサルサービスの順次実施 ・各ゴール達成に向けた取組の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施???? 第4期の指定期間が2年延伸されることから、執行計画を2年延伸して組み直すこととした。		P79